

戦略 1 地域の持続的発展を支える人材育成の推進

取組 2 教育力向上のための教職員能力開発拠点の強化

教育・学生支援機構「教育企画室」は、平成22年度に「教育関係共同利用拠点」の認定を受け、FDとSD活動を意欲的に展開してきました。平成27年度にはこれまでの教職員能力開発拠点としての実績が高く評価され、教育関係拠点として5年間、再認定されています。本学ではこの拠点をもつ強みを活かして、平成25年度に若手教員の能力開発を重視した独自のテニユア・トラック制度を導入しました。

今後は、全国に先駆けて実施してきたこれら一連の活動をさらに発展させ、本学の教職員の教育能力向上に取り組むとともに、授業デザインやIR機能の充実、教育の質保証を担うFD、SD、IR等の専門家の育成を通して、我が国全体の高等教育の質の向上を推進します。

関連する中期計画

教育関係共同利用拠点（教職員能力開発拠点として平成31年度まで認定済）を中心に、テニユア・トラック制度のためのPD（Professional Development）プログラムを含む学内FD（Faculty Development）講習を更に高度化するとともに、本学が独自に開発しているFD・SD（Staff Development）講習について、本学教職員の受講者数を第3期中期目標期間中に延べ13,000人以上とする。

教育の質の向上のため、教育コーディネーターを中心にした各部局の教職員との連携を図りながらカリキュラム改善に向けたFDを実施する。

教職員能力開発拠点や四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）を通して、第3期中期目標期間中に延べ150校以上に研修講師を派遣するなど、本学で培った人材育成のノウハウを全国に発信するとともに、FD・SD・教学IRを専門的に担当する実践的指導者を育成するため、全国の高等教育機関の教職員を対象として学外で毎年2回の養成講座を開催し、学内外で延べ300人以上の修了者を輩出する。

職員の能力開発（SD）を推進するため、企画力・実践力を高める研修プログラムを開発し、実践する。